

全国展開を目指した

# 子育て支援システムの地域への普及



奈良工業高等専門学校・教授  
男女共同参画推進委員会委員長  
**松村寿枝**



武庫川女子大学・教授  
女性活躍総合研究所  
ダイバーシティ化推進部門リーダー  
**福尾恵介**



奈良女子大学 ダイバーシティ推進センター  
特任教授 **春本晃江**



# 子育て支援システムの 地域への普及

—奈良高専の状況と今後の取り組み—

奈良工業高等専門学校 情報工学科 教授  
男女共同参画推進委員会委員長  
松村寿枝

# 高専の状況

## 【高専機構全体の女子比率・人数】

本科(1~5年生) 22% 10529名

専攻科(1, 2年) 14% 407名

## 【高専機構全体】

教員の女性比率・人数 11% 403名

教授職の女性比率・人数 5% 68名

## 【奈良高専】

研究者在籍者数, 女性職比率

教授 : 30 (3)

准教授 : 30 (2)

講師 : 5 (3)

助教以下 : 9 (1)

女性在职比率 : 12.2%

# 高専機構の女性研究者等支援策

- 55キャンパス活用同居支援プログラム  
令和2年度人事交流中15名(全国高専)  
⇒育見、介護で女性3名、男性12名
- 研究支援員(10名 女性9名、男性1名)(全国高専)
- Re-Start研究支援(研究復帰を支援するプログラム)(全国高専)  
⇒女性4名

# 奈良高専の状況

- 病児・病後児に関するアンケートにおいて非常勤をふくめてもおおよそ半分に近い方々から回答（奈良高専の教職員数は、常勤121名）
  - 20歳代から60歳代の教員と職員が同数の回答があり、「病児・病後児保育」についての関心は高く、切実で重要な子育ての課題
  - 一方で、これまで（本事業採択以前）は、本校単独の女性研究者に対する支援が充分にできていなかった
- ⇒ 本事業の成果（モデル）を地域だけでなく他高専への展開が期待できる。

# 令和2年度奈良高専の取り組み

## ①連携体制・ダイバーシティ研究環境整備 『研究支援員制度の実施』

- ✓ 4女性研究者や若手研究者のための研究支援システム（きららか研究支援員制度）を継続して実施（6名に配置）
- ✓ ならっこネットの共同利用開始（令和2年度利用実績 2名）

## ②女性研究者の研究力向上

- ✓ 共同実施機関にセミナー及びカフェに本校教職員が参加（3回）
- ✓ 「令和2年度共同研究スタートアップ支援経費」において、4件が採択  
（研究代表者：奈良女子大学2件、奈良工業高等専門学校1件、武庫川女子大学1件）（連携6機関）
- ✓ 奈良高専受賞者1名に対して女性研究者賞授賞式が開催。
- ✓ きららかセミナーを10/9, 10/16, 11/13, 11/20, 11/27, 12/4, 12/11, 12/18, 12/25 実施。
- ✓ 学内女性教員だけでなく企業女性技術者も参加。企業技術者の延参加数は63名、うち24名女性

# 令和2年度奈良高専の取り組み

## ③女性研究者の採用・上位職登用・裾野拡大・その他『女性研究者の採用』

- ✓ 1学科で、女性限定公募の応募を開始した。
- ✓ 2学科で、女性限定公募の応募を開始した。(再公募含む)
- ✓ 1学科で、女性優先公募の応募を開始した。→ 助教1名(一般教科 数学)を採用した。
- ✓ 1学科で、女性優先公募の応募を開始した。(再公募含む)
- ✓ 1学科で、女性限定公募の応募を開始した。→ 専門学科 准教授1名を4月1日以降採用予定。

## ④その他

3機関が実施した3種類のダイバーシティ関連のシンポジウム、奈良女子大が開催した管理職向けFD研修会に教職員が参加。

### 『奈良高専の情報発信』 ⇒ 地域への普及

- ✓ 「大学等における男女共同参画推進セミナー」(国立女性教育会館主催)において本校の女子学生教育の取り組みを発表した。
- ✓ 電気通信大学主催(ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型))「with コロナ時代の働き方を考える」にパネリストとして参加した。
- ✓ ダイバーシティの取り組みを別途ホームページにて情報発信

# 令和2年度奈良高専の取り組み

## (3) 今後の予定 (2021年度以降を含む)

- ✓ ダイバーシティ講演会を3月10日に実施予定である。
- ✓ 研究者育成のために必要な女子学生教育に関する情報交換会を近畿地区高専教員に対して3月22日に実施する予定である。

## 『今後の取り組み(2021年度以降)』

- ✓ 女性研究者の研究力向上を図るための体制及び取り組み
- ✓ 女性研究者の上位職への登用に向けた取組
- ✓ 連携機関等の研究者への支援を通じた好事例の展開
- ✓ 意識啓発や組織改革等を図るための取組
- ✓ 女子学生・女性研究者向けキャリアパス支援の取組

事業計画に基づき、実施



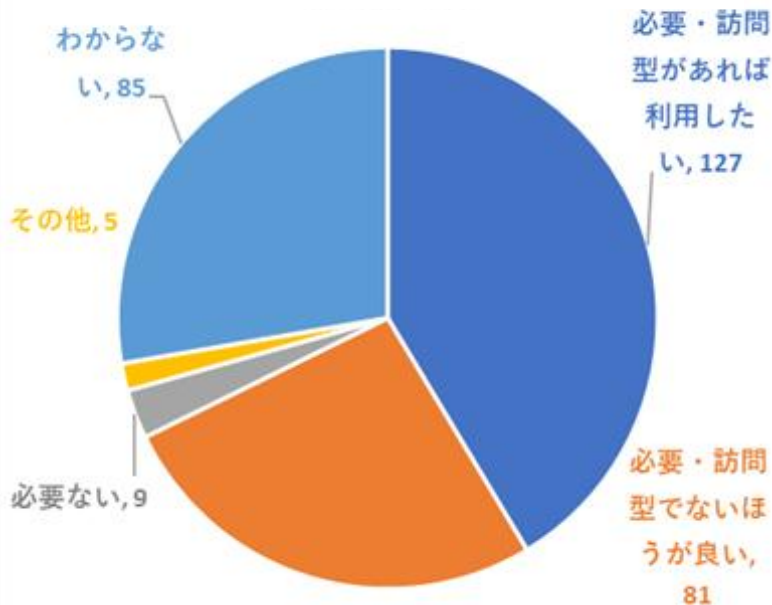
# 武庫川女子大学「訪問型」病児・病後児保育制度の 構築と地域への普及

武庫川女子大学・教授  
女性活躍総合研究所  
ダイバーシティ化推進部門リーダー

福尾 恵介

# 訪問型病児・病後児保育制度に関する 学内ニーズ調査結果（2020年度）

全回答者 307人（無回答除く）

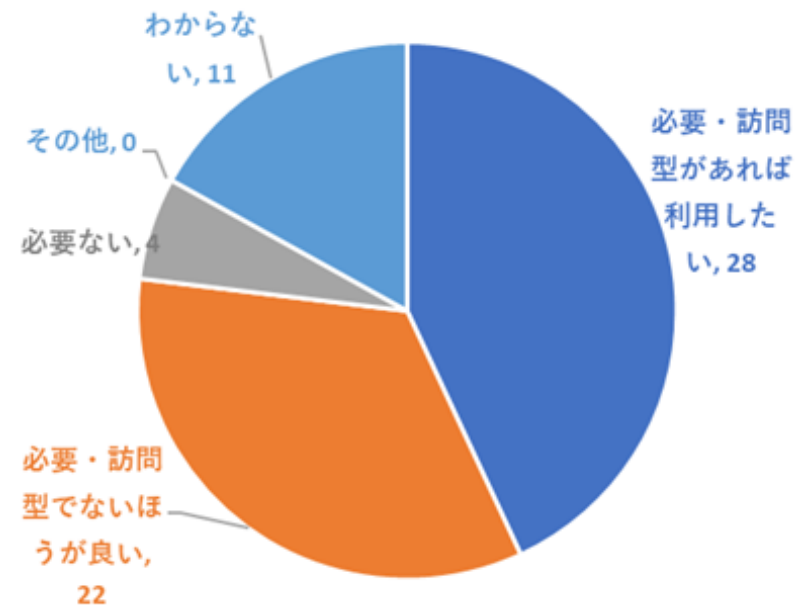


病児・病後児保育が必要 **68%**

- ・ 訪問型利用したい **41%**
- ・ 訪問型でない方がよい **27%**

分からない **27.7%**

未就学児・小学生をもつ  
回答者 65人（無回答除く）



病児・病後児保育が必要 **77%**

- ・ 訪問型利用したい **43%**
- ・ 訪問型でない方がよい **34%**

分からない **16.9%**

# 訪問型病児・病後児保育制度に関する 学内ニーズ調査の自由記述

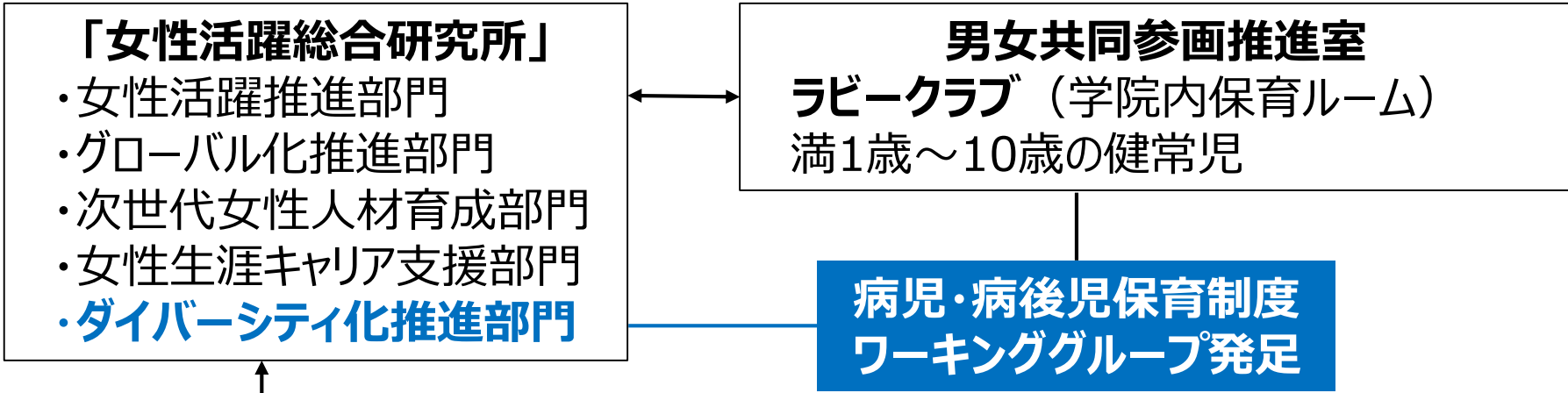
## ①「訪問型を利用したい」回答者

- ・ あらかじめマッチングした看護師、信頼できる方なら安心
- ・ 様子を見られるシステムがよい
- ・ どうしても仕事を休めないときには助かる
- ・ 体調の悪い子を外に連れ出さず自宅で看てもらえる
- ・ 幅広い支援の一つの選択として必要

## ②「訪問型でない方がよい」回答者

- ・ 急な場合にすぐに利用できる施設がある方が便利
- ・ 家に他人が入ることの不安
- ・ 大学の近くでの保育の方がありがたい

# 本学の「訪問型」病児・病後児保育制度構築に向けて



**奈良女子大学**  
**「訪問型」病児・病後児**  
**保育システム**

- ・ 共同利用（奈良県在住の本学女性研究者の利用）

- ① 西宮市での「訪問型」病児・病後児保育システムの構築（奈良女子大学モデルの導入）
  - ・ サポーター養成（看護学科や幼児教育学科との連携を模索）
- ② 学内病児・病後児保育ルームの開設（？）
  - ・ 本学「訪問看護ステーション」との連携を模索

# 子育て支援システムの地域への普及に向けて

## 「女性活躍総合研究所」

- ・女性活躍推進部門
- ・グローバル化推進部門
- ・次世代女性人材育成部門
- ・女性生涯キャリア支援部門
- ・ダイバーシティ化推進部門

## 本学西宮地域病児・病後児 保育制度

- ・ 共同利用（西宮市付近在住の女性研究者の利用）

## 奈良女子大学 「訪問型」病児・病後児保育 システム

- ・ 共同利用（奈良県在住の女性研究者の利用）

## 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)「女子中高生の理系進路選択支援 プログラム(令和2年度採択)」

### 共同実施機関：

ネスレ日本株式会社（飲料事業本部）

### 連携機関：

国立研究開発法人理化学研究所（計算機科学/生命機能科学研究センター）、株式会社竹中工務店、味の素株式会社、三井不動産株式会社、阪神電気鉄道株式会社、株式会社ぼうしや薬局、株式会社みなと銀行、西宮商工会議所

全国展開を目指した

# 子育て支援システムの地域への普及



奈良女子大学 ダイバーシティ推進センター  
特任教授

春本晃江



# Area 3

遠方の他府県  
全国



利用者



サポーター



利用者



サポーター

# Area 2

近隣の  
他府県

# Area 1

奈良県下



利用者



サポーター



独自サポーター  
Webシステムのカスタマイズ

サポーター講習会  
の共有  
(モデル：武庫川女子大学)

サポーター  
Webシステム  
サポーター講習会  
の共有  
(モデル：奈良高専、佐藤薬品工業社)

独自サポーター  
Webシステム  
サポーター講習会  
の共有  
(モデル：プロアシスト社、  
帝人フロンティア社)

# 子育て支援システムの地域への普及

---

- ✓ ・それぞれの地域における自治体、医師会、看護師団体との連携・協力体制の構築
- ✓ ・それぞれの地域におけるサポーターの養成
- ✓ ・それぞれの機関に合ったWebシステムの構築
- ✓ ・それぞれの機関におけるリスク管理体制の整備



「ならっこ病児モデル」  
を全国へ！